

【担当教員名】 山口富一	対象学年	4	対象学科	言語
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】

聴覚障害から来る多面的な不自由さをより深く理解し、QOL改善のためにどのような支援や取り組みができるのかを中心に、関係論文を読み、言語聴覚士として必要な実践的な力を養う。また卒業研究に関連させて専門性を深める。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】

- 1 聴覚障害に関して興味ある研究テーマと論文を探すことができる。（教員からの提示もある）
- 2 参考書や参考図書も活用して論文内容をまとめ、発表することができる。
- 3 先行研究を参考にに関心のある分野を掘り下げることができる。
- 4 卒業研究と関連させて、情報・資料の整理を的確に処理できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	習得方法・学習課題又は備考・担当教
1	関係論文の選定と解説	1	講義
2～5	聴覚障害に関する論文の選定と要旨の発表	1 2	演習
5～9	興味のあるテーマの情報収集と研究計画の立案	3	演習・個別学習
10～14	研究計画の実施とまとめ	4 5	演習・個別学習・臨床

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書	今までに購入したものを利用			
参考書	必要に応じてプリント配布 適宜紹介する			
その他の資料				

【評価方法】 論文の分析やテーマの理解力・発表内容を元に評価する。国試関連テストの成績も入れて評価する。	【履修上の留意点】 ・臨床実習等と重なるときは事前に発表を調整するので予定を早めに連絡すること。 ・主体的な学習を重視する
---	---